

〔 名前 〕 渡辺 俊太郎

〔 職位 〕 教授

〔 保有学位 〕 博士（心理学）

〔 担当科目 〕 総合基礎演習Ⅰ 教育心理学特論  
臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ  
臨床心理学演習 論文指導

〔 専門分野 〕 心理学 臨床心理学

〔 学外活動 〕 大阪教育大学非常勤講師  
城南学園中学校・高等学校教育相談員  
日本心理学会会員 日本健康心理学会会員  
日本カウンセリング学会会員  
日本保育学会会員 日本乳幼児教育学会会員  
日本保育ソーシャルワーク学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

【著書】

渡辺俊太郎（2008）. 怒りの健康への影響—怒りは健康を害するのか— 湯川進太郎  
（編） 怒りの心理学—怒りとうまくつきあうための理論と方法— 有斐閣  
pp. 75-94.

大阪総合保育大学総合保育研究所子育て支援プロジェクト編著・渡辺俊太郎監修  
（2015）. 子育て支援のいまとこれから—大阪府下の保育所・幼稚園での実態調  
査から— ふくろう出版

渡辺俊太郎（2016）. 認知行動療法 菊野春雄（編） 乳幼児の発達臨床心理学—理  
論と現場をつなぐ— 北大路書房 pp. 201-215.

渡辺俊太郎（2019）. 子どもの悩みを理解しようとするチカラ 古川聡（編） 教育  
心理学をきわめる10のチカラ（改訂版） 福村出版 pp. 149-164.

【論文】

渡辺俊太郎・小玉正博（2001）. 怒り感情の喚起・持続傾向の測定—新しい怒り尺度  
の作成と信頼性・妥当性の検討— 健康心理学研究, **14**, 32-39.

Watanabe, S. & Kodama, M.（2002）. The role of anger lengthiness in the  
relationship between anger and physiological responses in Japanese college  
students. *Japanese Health Psychology*, **10**, 33-44.

渡辺俊太郎（2002）. 心理療法における査定と見立ての重要性—赤面を訴えて来談し

- た青年の事例を通して― 筑波大学臨床心理学論集, 7, 3-7.
- 渡辺俊太郎・小玉正博 (2003). 怒り持続傾向を低減させ得る怒り対処―見返し対処行動に関する予備的検討― 筑波大学臨床心理学論集, 18, 31-42.
- 渡辺俊太郎・小玉正博 (2004). 怒りと健康に関する研究の動向と今後の課題 筑波大学心理学研究, 27, 83-97.
- 渡辺俊太郎 (2004). 怒り感情が心身の健康に及ぼす影響に関する研究 筑波大学大学院心理学研究科博士論文
- 渡辺俊太郎 (2007). 大学生の抱く怒りイメージと怒り持続傾向・怒り対処との関連―テキストマイニングによる怒りイメージに関する自由記述の分析― 大阪総合保育大学紀要, 創刊号, 77-88.
- 渡辺俊太郎・大方美香・栗山誠・要正子 (2009). 大学による地域子育て支援の試み―養育者を対象としたプログラムと子育て相談活動の実践― 大阪総合保育大学紀要, 3, 113-124.
- 渡辺俊太郎・佐伯知子・森下規代子 (2010). 現場での学びを活かした保育士・教員の養成―全学年における年間インターンシップ実習の取組― 大阪総合保育大学紀要, 4, 157-172.
- 渡辺俊太郎・馬場住子・楠本洋子 (2019). 支援が必要と考えられる保護者に対する保育者の取り組み―アンケート調査における成功事例、困難要因、今後必要な取り組み― 大阪総合保育大学紀要, 13, 25-35.